

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 23 年 11 月 8 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	前橋バラ組合における重油ボイラーの電気式高効率ヒートポンプへの転換による省エネ事業
承認番号	JCDM-PJ0086
排出削減事業者名	前橋バラ組合
排出削減共同実施事業者名	東京電力株式会社 (その他関連事業者名：三菱電機株式会社、 三菱電機クレジット株式会社)
事業実施場所	前橋バラ組合 (群馬県前橋市富田町 1670-1)
事業の概要	温室用の重油ボイラーを電気式高効率ヒートポンプに転換することにより、重油使用量を削減し、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	729 tCO2/年 (事業実施期間合計 2,828 tCO2)
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 10 月 7 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2010 年 10 月 22 日 ~ 2011 年 6 月 9 日 (第 2 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	655 tCO ₂ (2010年10月22日～2011年6月9日)
-------	----------------------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 承認済排出削減事業計画に従い、電気式高効率ヒートポンプが導入されていることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績により確認した。2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、当該期間にわたるヒートポンプ電力使用量の計測データの確認により確認した。3) 事業開始日が適切に把握されていることを第1回目実績報告の際に確認している。4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">1) モニタリング方法については、承認済事業計画に従って、自動計測したハウス全体の電力量から補機電力量を控除してヒートポンプの電力使用量を把握し、ハウスの使用状況や暖房期間の確認についてもQA/QC通りに実施されていることを、エネルギー使用実績により確認した。電力会社請求書等によりヒートポンプ電力使用量の把握がなされていることを確認した。2) ヒートポンプ電力使用量については、報告期間中に亘り、自動保存されるモニタリングデータが記録責任者の確認の元、本データが正確に集計・算定されていることをモニタリングデータの突合により確認した。

	<p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程を確認した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>5) その他 その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2010 年 10 月 22 日～2011 年 6 月 9 日までであり、排出削減量を算定した期間が、2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認した。</p>

5 . 特記事項

確認した排出削減量(クレジット量)に相当する省エネ量について、原油換算 104.3kl であることを確認した。

以上